

平成17年度

# 施政方針 抜粋



本市の平成十七年度の予算編成につきましては、政府予算や地方財政収支見通しの概要等を十分踏まえ、さらに本市の財政状況を考慮したうえで、地方分権や住民ニーズ等に適切に対処するために、行財政改革の計画的な取組を行うとともに、独自の工夫を加えつつ、事務事業及び組織・機構の見直し、競争原理による民間委託等を推進し、行政の効率化と歳出の徹底した見直しによる財政再建に努め、新対馬市建設計画に基づき、

「アジアに発信する歴史海都市」の実現に向けて努めるとともに、住民福祉の向上を図ることを基本方針としております。

## 一、安心して暮らせるまちづくり

次代を担う子供たちが健やかに生まれ、育成される環境整備を進めるとともに、関係機関等と連携・協力しながら、地域における子育て支援などの各種サービスや事業を計画的に努めてまいります。

さらに、本年度は、介護保険事業計画及び高齢者保健福祉計画の見直しを行うこととなっており、保健及び福祉それぞれの分野で連携したサービスの提供を基本に作成するものであります。

また、障害者自らがサービスを選択し、事業所や施設のサービスを利用する支援費制度のほか、地域子育て支援センター運営委託、こどもデイサービスセンター管理運営委託、福祉のまちづくり推進事業補助、精神障害者地域活動支援事業補助、障害者医療費、乳幼児福祉医療費、母子福祉医療費、身体障害者施設支援費、知的障害者施設支援費、身体障害者居宅介護事業、身体障害者デイサービス事業、知的障害者居宅介護事業、特別障害者手当等給付、在宅介護支援センター運営委託、養護老人ホーム入所措置費、各種福祉団体への補助、生活保

護費、「食」の自立支援事業委託、生きがい活動支援通所事業委託、高齢者生活福祉センター運営委託、敬老行事開催委託、保健師等養成奨学資金貸付金、豊玉町保健センター建設、対馬医療サミット開催負担金、離島医療圏病院負担金及び介護保険特別会計等の繰出金を計上し、健康づくりに取り込む市民を支援するため、母子保健事業及び老人保健事業検診等を実施し、各種疾病の予防策として、予防接種事業及び結核検診事業の実施等を計上してまいります。

次に、生活環境の改善や廃棄物の適正処理などの環境保全のため、火葬場管理委託、ごみ堆肥化容器設置補助、合併処理浄化槽設置補助、久田不燃物捨場暫定対策工事、可燃ごみ運搬業務委託、対馬クリーンセンター運営費、北部汚泥再生処理センター整備、街並み環境整備事業、街路横町線改築事業、日吉団地公営住宅建設、今屋敷地区第一種市街地再開発事業、急傾斜地崩壊対策事業、最終処分場改修事業基本設計委託及び簡易水道事業特別会計繰出金等を計上してまいります。さらに、市で発生するすべての一般廃棄物の適正な処理を確保するための基本となる一般廃棄物処理計画を策定します。

災害などから市民の生命、身体及び財産を守るため、市機関との連携を密にし、人命救助や消火活動等に万全の体制で取り組んでまいります。

また、消防・防災無線施設や機器の整備、更新を計画的に行い、地域防災能力の向上を図るため、小型動力ポンプ購入、消防ポンプ自動車購入、防災無線運営費等を計上してまいります。

## 二、豊かな生産のまちづくり

農林水産業等を取り巻く環境は、担い手の減少と高齢化の進行、輸入品の増加等により、かつてない厳しい状況にあります。

このような状況の中で、経済団体及び観光団体と一体となった取り組みを展開し、対馬の自然を生かした観光開発と、市民の所得の向上と農道、林道、漁場、漁港の整備改善や栽培漁業の推進を図るため、農林業関係では、しいたけ生産推進補助、ながさき「食と農」支援事業補助、転作奨励補助、イノシシ被害防除対策事業、有害鳥獣被害対策事業補助、農道整備事業、林道整備事業、林整備地域活動支援交付金、木材処理加工施設補助及び林業機械導入事業補助等を計上してまいります。

水産業関係は、イカ柴等設置事業、稚貝・稚魚放流事業、コンブ種苗造成事業、漁業等近代化対策事業、水産業経営改善資金等利子補助、漁港整備事業及び県営漁港整備事業負担金等を計上してまいります。

商工観光関係は、商店街再発見支援事業、対馬観光物産協会補助、対馬アリアン祭振興会運営補助、朝鮮通信使行列振興会運営補助、あじさい・バラグライディング大会補助、国境マラソン開催補助、観光案内板整備、公園管理費等を計上してまいります。

道路関係は、市民の日常生活の利便性を図るため、各種の補助事業や起債事業を活用し、生活道路の機能を担う市道の整備を進めるため、尾浦線改良、赤島線改良、昼ヶ浦線改良、和板系瀬線改良、左保田線改良、茂木線改良、殿崎線改良及び国道道整備事業負担金等を計上してまいります。

## 三、感動する心の育成をめざして

子供たちが豊かな体験をすることによって豊かな心を育てられるような生活体験や社会体験の機会を与え、子供たちの夢が広がるような教育を展開し、社会に対応できる能力や創造性を育み、個性を生かした魅力ある教育を推進するために、施設・設備の整備を進めてまいります。

学校教育では、離島留学生ホームステイ補助、小・中学校教育研究会補助、教育用備品・学校図書購入、総合学習事業補助、北部小学校大規模改造事業、高度へき地修学旅行補助、通学バス運行委託、学校給食業務委託、学校用務員委託、英語指導助手及び高

校生遠距離通学費補助等を計上しています。

さらに、国際化時代に対応した「対馬ならではの教育」や「特色ある学校づくり」に努めるため、韓国の中学校と姉妹校関係にある三中学校との日韓交流教育促進事業を実施してまいります。

生涯教育では、スポーツを楽しむ、市民自ら学習する意欲と能力を養う生涯学習活動を支援するために、スポーツ教室や公民館講座の開催を行うほか、各種事業を進めるとともに、青少年劇場開催、対馬体育協会補助、スポーツ活動振興補助、青少年健全育成協議会補助、PTA運営補助、清水山城跡外保存整備事業、金田城跡保存整備、公会堂行事開催委託及び県立対馬青年の家運営費負担等を計上しています。

#### 四、国際交流の活発なまちづくり

韓国との交流を進めるため、国際交流員の設置をはじめ、釜山日本歌謡大会負担金、対馬国際交流協会運営補助、影島区との行政・スポーツ交流事業、青少年国際交流体験事業補助、ホームステイ受入事業、対馬ちんぐ音楽祭事業補助等を計上しています。

さらに、本年度は韓国側と日本側が共同して、個人観光客向けに航路と陸路一体となった移動手段を低廉な価格で提供する事業を実施すること

に対して支援するために、国際航路利用促進事業補助金を交付することとしております。

#### 五、夢を共有する元氣な対馬づくり

新対馬市の基本的な指針となる「新対馬市総合整備計画」を策定します。策定に当たっては対馬市総合計画審議委員会及び専門部会を設置して、市民の皆様の声を新対馬市総合整備計画に反映します。事業としては、「対馬市民

球団」を創設し、市民との交流試合、子供たちや少年野球の指導者育成のための野球教室などの開催や「国境の島・対馬」をアピールするため、第十九回全国・離島交流ゲートボール親善大会の実施、浅茅湾で対馬シーカヤックマラソン大会を開催します。

また、情報の共有化を推進するため、「対馬有線テレビ放送局」の実現に向けての施設整備に着手します。この施設を利用して、情報の公開、より正確な情報の伝達ができると考えております。

さらに、携帯電話の不通話地域の解消を図るため、移動通話施設整備事業を進めてまいります。

対馬に新たなエネルギー源を求めて、「海洋温度差発電」の可能性を探るため、海洋調査業務を委託することとしております。この調査で一定の成果を得ることができ、その結果、企業誘致ができれば、

雇用の拡大と、対馬の発展につながる、自主財源の確保もできると考えております。

#### 六、効率的な行政運営をめざして

簡素で効率的な行政運営を進めるため、市民に分かりやすく透明性の高い行政運営を進めてまいります。入札事務関係では、透明性、公正性、競争性の確保に努めるため、対馬市入札監視委員会を設置します。

事務処理の合理化を図るため、戸籍管理システムを電算化し、住民サービスの向上に努めてまいります。また、人事管理システム及び契約管理システムについても電算化します。

#### 七、財政再建と行政改革の推進をめざして

懸案の財政再建であります。市の厳しい財政状況があるとはいえ、市民の皆様には多大のご負担とご辛抱を強い結果となり、大変心苦しく思っております。

本年度においては、特別職の給与の削減をはじめ、職員手当等の見直し、事務補助嘱託員の削減及び各種補助団体補助金の削減をしております。

また、市税の前納報奨金及び合併処理浄化槽設置補助金の単独継ぎ足しの廃止、公立保育所の入所負担金の引き上げ、敬老祝い金の受給対象者を従来の七十七歳以上から喜寿、

米寿、白寿の節目の年のみに支給することとしました。財源不足の中で財政再建を進めるためには、やむを得ない措置であると考えております。

対馬市では、行財政改革を進めるため、昨年十一月に対馬市行財政改革推進委員会を設置し、現在までに計四回の委員会を開催し、この度、中間答申をいただきました。

この中間答申では、行財政改革を進めるためには市民のご理解とご協力が不可欠であることから、対馬市の行財政の現況を分かりやすく市民に開示しながら、計画的な財政運営や政策課題に対応した組織機構改革、コスト削減と予算の重点配分、行政評価システムの導入、職員の人材育成など、数多くのご提案をいただいております。

市といたしましては、中間答申に基づき組織機構改革などを実施しますが、引き続き今回の中間答申や今後の行財政改革推進委員会のご意見、ご助言を賜りながら安定した行財政システムの構築に全力で取り組んでまいります。

また、国・県からの事務・権限委譲に対して、市が、自らの判断と責任で地域の実情やニーズに合った施策を迅速に展開できるように、職員の意識改革や政策形成能力の向上、市民の市政参加の促進などに一層努めてまいります。

以上、市政の主要施策を申し述べましたが、限られた財

源の中から緊急性及び必要性により選択を行い事務事業の推進に努めることとしていますが、政策課題はまだまだ山積しております。

また、本市の平成十七年度予算は、前年度に引き続き大幅な財源不足の状況にあります。今後の財政健全化に向けて、行財政改革に積極的に取り組んでまいります。

財政再建を目的とする様々な制度の改革は、市民の皆様にも痛みを強いることもありまが、行財政改革を怠り、現状のままで推移していきますと市財政は赤字に陥ることになり、いずれにしても市民の皆様にも負担増や我慢を強いることとなります。私は健全な本市の行財政運営の確立に向けて、英断を持って改革を実行する固い決意であります。

国や県の動向を十分に見極めて「対馬市総合整備計画」を早期に策定し、この計画に掲げる政策の実現に向けて取り組むことにより、豊かな自然や歴史・文化を生かした元氣のある対馬市の創造を目指したいと思っております。

今後、諸施策の実施に当たっては市民の皆さんの声を良く聞き、楽しく安心して暮らせる社会の実現に向けて最大限の努力をいたす所存でございます。

なにとぞ、市民の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。